

11匹きのねこと 馬場のぼるの世界展

World of the 11 Cats and BABA Noboru



《11匹きのねことぶた》こぐま社 1976年刊印刷原稿（特色刷り校正用リトグラフ/部分）

2017 7月22日(土) ▶ 9月24日(日)

協力：こぐま社 馬場歌子 青森県三戸町
島田康彦コレクション 絵本の家

企画：アドシステム

黒姫童話館 & 童話の森ギャラリー

9:00 ~ 17:00 最終入館 16:30 まで

入館料：一般 800円 小中学生 500円

※会期中は童話館およびギャラリーとの共通入館券の販売

このチラシご持参で、2名まで入館料100円OFF

ねこ大好きあつまれ!!



自慢のねこ写真をプリント
してお持ちください。入口
パネルに掲示いたします!!
ぜひ遊びに来てください。
(※写真の返却はできません。)



11匹きのねこと馬場のぼるの世界展

World of the 11 Cats and BABA Noboru

絵本『11匹きのねこ』のシリーズは、好奇心旺盛で、貪欲で、ちょっとずるいところもある、けれどもなぜか憎めない11匹きのねこたちが繰り広げる物語。空前のねこブームですが、1967年の第一作誕生から、そののびやかな表現とユーモアあふれるストーリーは、幅広い世代に今も愛され続けています。

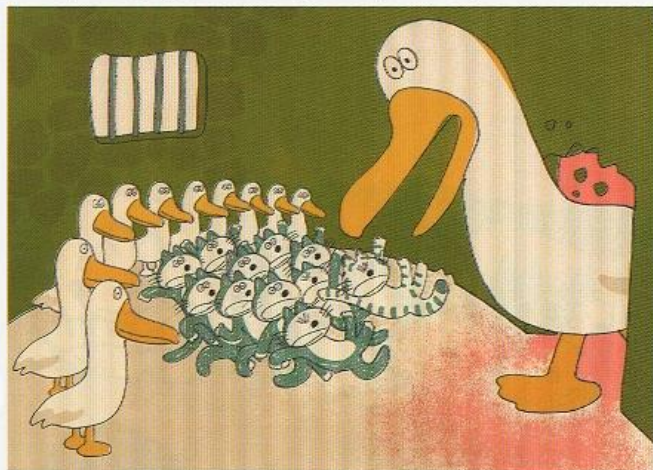
作者の馬場のぼる（1927 - 2001年）は青森県三戸町に生まれ、戦後にまず漫画家としてデビューし、児童雑誌で『ポストくん』や『ブウタン』を発表。親友でもあった手塚治虫や、福井英一とともに「児童漫画界の三羽ガラス」として呼ばれるほど人気を博します。

その後絵本作家としても活動し、第一作『きつね森の山男』から遺作となった『ぶどう畑のアオさん』まで多くの絵本を発表し話題を呼びます。そのほのぼのとした画風は漫画でも絵本でも生涯を通じて変わることはありませんでした。

本展ではそうした馬場の『11匹きのねこ』のシリーズをはじめとした絵本や漫画の印刷原稿や原画、スケッチなどの資料に加え、2010年に生まれ故郷の三戸町で見つかった幼少期や青年期の貴重なノートやイラストなども合わせて展示し、馬場のぼるの世界をご紹介します。今回特別に、小林一茶の俳句から着想を得て描いた作品も展示します。お楽しみに!! 特設ショップでは『11匹きのねこ』シリーズのグッズを販売しますので、合わせてお楽しみください。



11匹きのねことぶた こくま社 1976年刊 印刷原稿（特色刷り校正用リトグラフ）



11匹きのねことあほうどり こくま社 1972年刊 印刷原稿（特色刷り校正用リトグラフ）



《ぶどう畑のアオさん》
こくま社 2001年刊
原画（紙、墨、水彩）



《ブウタン》／『幼年ブック』（集英社）
1954年掲載／漫画原稿（紙、墨、水彩等）



《紙風船》（小学校5年生時作）1938年頃
紙、水彩／青森県三戸町蔵

関谷裕子 ギャラリートーク

こくま社編集長の関谷裕子さんに、展示作品とともに馬場のぼる氏の人柄や作品が出来るまでのエピソードなど語っていただきます。

8月5日 土 13時～14時30分

ねこ大好きあつまれ!! 会場： 童話の森ギャラリー内

自慢のねこ写真をプリントしてお持ちください。ギャラリーの受付入口付近のパネルに掲示いたします!! ぜひ遊びに来てください。

※ 展示会入場者に限る。（写真の返却はできません。）

黒姫童話館 & 童話の森ギャラリー



- 開館時間 9時～17時（最終入館時間16時30分）
- 営業期間 4月5日～11月30日
- 休館日 5・6・9・10月の末日（日曜日、祝祭日の場合は、その翌日休）
※童話の森ギャラリーは、他に展示替え休館日があります。
※ちひろ山荘の閉館時間は16時30分。営業期間4月中旬～11月第2日曜日まで。
- 入館料 ※障がい者割引があります。

区分		黒姫童話館 童話の森ギャラリー 共通入館料
個人	一般	800円
	小中学生	500円
団体 20名以上	一般	600円
	高校生	450円
	小中学生	350円

このチラシご持参で
個人入館料2名まで
1000円OFF

- 童話の森園内入口の誘導看板に従い、徒歩または自家用車にてお越しください。
- 当館は、ペットの入館はできません。外へ保留してください。ペット同伴の方は、園内では必ずリードを着用ください。 ●割引の併用はいたしません。
- ご不明な点は黒姫童話館へお問合せください。

〒389-1303 長野県上水内郡信濃町大字野尻 3807-30
http://douwakan.com TEL026(255)2250